

ひがししらかわ



3月3日、保育園で中津川市の劇団「なんじゃもんじゃ」による劇が行われました

村長室から

早朝はまだまだ寒く、「春は名のみの風の寒さや」という歌のとおりの日が続いています。三寒四温、ひな祭りといった言葉を耳にするたびに暖かくなっていくような気がします。▼三月は、卒業、旅たちの季節でもあります。本村の中学校では二十三名が、小学校は二十四名、そして保育園は六名が卒業、卒園します。卒業、卒園する皆さんの前途に幸多かれと願うばかりです。▼少子化が進み、次代を担う子どもは減少は切実な課題といえますが、子どもたちはこの村の希望であり、宝です。新年度では教育委員会に子育て支援係を新設し、子育てを一貫してサポートできるようにします。行政が行える子育ての相談や支援、様々な助成制度の申請窓口を一本化するとともに、今後さらに充実させる必要がある支援策を立案したいと考えています。新年度予算でも、今まで以上に経済的な支援や子育て環境の整備を行うべく予算計上しており、「この村で子育てして良かった」「子育てしてみたい」と言われる村にしたいと考えています。▼村が取り組んでいるフォレストスタイル事業が総務省の「地域情報化大賞」を受賞しました。九十四件の応募がありました。大賞である総務大臣賞に決まりました。十月の全国村長サミットの「村オプザイヤー」に続く最高栄誉であり、今後益々、村の活性化に邁進する勇気を頂くことができました。▼平成二十六年年度の村民の皆様の村政に対する格別のご協力に深く感謝申し上げます。



3
2015

平成二十六年 完了事業

防災行政無線を

デジタル化しました

地震や大雨、台風による風水害などの災害は、いつ起こるか分かりません。また、災害で道路や電力などが使えなくなり、情報が遮断されることもあります。このような非常時の通信手段として、「移動系デジタル防災行政無線（以下、防災無線）」を平成二十五年、二十六年の二ヶ年の事業で整備を進めてきました。

これまでの防災無線が設置されたのは平成八年のことで、十八年間が経過していました。そのため耐用年数が過ぎていたことと、機器の仕様上、越原地区の一部とは通信ができない状態だったため、更新しそれらの不具合を解消しました。

また、「全国瞬時警報システム（Ｊアラート）」が連動し、人工衛星を利用して地方公共団体に送信される「緊急地震速報」、「国民

保護情報」などの時間的に余裕のない緊急情報を受信した際には、防災無線機から自動的に警報を送るようになっていきます。

平成二十七年三月十六日が竣工予定で、順次本格運用を開始します。

新たな機能

今回整備した防災無線は、通常の電話と同じように無線機器相互の直接交信も可能です。この機能を平常時における連絡手段として利用することで、機器の利用に慣れ非常時でも問題なく使えるよう恒常的利用解放を考えています。

また、グループ通信も可能になるため、消防団用、役場用、自主防衛会用と切り分けることで、平常時の利用に適するよう利用環境を整備する予定です。



携帯型無線機



半固定局 持ち運びも可能です

設置箇所（台数）

【半固定局】

防災センター、中学校、小学校、みつば保育園、はなのき会館、こもれびの館、五葉会館、伝承の館、西洞センター、診療所、せせらぎ荘、神土北コミュニティ消防センター、役場（２）、越原センター、むくハウス、栃山クラブ、黒瀬クラブ、子護会館、越原コミュニティ消防センター、越原上コミュニティ消防センター、五加センター、正風館、五加コミュニティ消防センター、各集会所

【携帯局】

役場用（９）、消防幹部（１７）、非常用（４）、診療所（１）、自主防災会（１９）、分遣所（１）、警察駐在（１）

【車載無線機】

消防車両（１１）、公用車（６）

村と地域の取り組み

現在、村は防災力の強化を図っており、防災無線の更新はその一部です。平成二十七年中には現在ある七ヶ所の防災倉庫に加え、新たに十八ヶ所設置する予定です。さらに、救助資材や避難所資材などの物資を数年かけて充実させていきます。

しかし、防災力の強化を過信せず、日ごろから災害に対する意識を高め、災害が起きたらどうしたら良いかを考えておくことが必要です。また、有事の際には地域の人たちと互いに連携・協力できるように、自主防災会を中心にコミュニケーションを取り合い、地域ぐるみで助け合える態勢を作っていきます。

担当行政係（内線 230）



統制局 有事の時に混雑する回線を制御します

ソーラーで災害対策

国では「災害に強く、環境負荷の小さい地域づくり」を目標に、地方公共団体が行う、防災拠点等への自立・分散型のエネルギーシステムの導入事業を実施するため、平成二十四年度から「再生可能エネルギー等導入推進基金（グリーンニューデール基金）」を交付しています。

村はこの基金を活用し、ソーラーシステムを役場本庁舎、中学校ランチルーム、五加センターに設置しました。容量はそれぞれ、二十キロワット、十五キロワット、十キロワットです。また災害対策として、それぞれの施設には蓄電池が備えられ、停電が起きた際でも十五キロワットアワー分の電力を使用することができます。



役場につけられたソーラーパネル



五加センターにつけられたソーラーパネル



役場玄関ホールにあるモニターで発電量などを確認できます



中学校の薪ストーブ

日常的に発電した電力は、その施設内で使用することになっていきますが、余剰電力がある場合は売電し、維持・管理費として使えるように積み立てておきます。さらに、災害時の避難所とされている中学校のランチルームには、同補助金を受け薪ストーブが設置されました。村にはまきが十分あり冬季の災害時でも使用することができまます。

担当 企画係(内線240)

電気自動車の来村を図る

移動のほとんどを自動車に依存している岐阜県では、温室効果ガスの削減、高い省エネ効果が期待できる電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド自動車（PHV）等の普及を促進しています。

そこで村は、道の駅「茶の里東白川」にEV急速充電器を整備し、二月二日に工事が完了しました。

【利用開始】 三月一日

【利用時間】 二十四時間

【料金】 試行期間（約一カ月間）は無料 ※試行期間以降は、この機器を管理する「日本充電サービス」、「エネゲート」への加入等を通して料金の支払いが必要になります。

【充電時間】 おおむね三十分間 ※車両、バッテリー等の関係で前後します。

担当 企画係(内線240)



道の駅の駐車場北側に設置しました

村内各所が新しくなりました

今年度、村内で行われた大きな工事を紹介します。

【中川原水辺公園駐車場舗装工事】 イベント時の車両渋滞の解消のため、公園南側の敷地を拡張し百三十三台が駐車できるよう整備しました。

【南北橋修繕工事】

老朽化した南北橋の塗装塗替、橋面舗装などを行い長寿命化を図りました。

【佐見谷線路面修繕工事】

【大屋敷線路面修繕工事】

【栃山線路面修復工事】

中谷、西洞及び栃山集落内のひび割れ、わだちなどで路面状況が悪く通行に支障をきたしていた村道を修繕しました。

【上小林急傾斜地崩壊対策工事】

中学校から若鮎荘にかけての山の斜面で、崩壊対策の工事を進めています。（現在も作業進行中）

担当 建設係(内線280)

【林道一本線橋梁改良工事】

橋の幅員が狭く、大型車等の通行に支障をきたしていたため、橋を架けかえ改善しました。

担当 林務商工係(内線270)

もしお近くに危険箇所、修繕の必要のある道路などがありましたら役場までご連絡ください。

ふるさとを学び伝える

工夫を凝らし堂々と発表

小学校では、三年生から総合的な学習の時間が始まり、村や村の産業などについて一年間を通して学習します。その成果を発表するかがやき発表会が行われました。

三年生はお茶について、四年生は自然とのつながり、五年生は職業体験、六年生は高齢化問題や村おこしについて、様々な体験や学習をし、ふるさとへの理解を深めるとともに自ら学び考える力をつけます。

各学年、劇やクイズなどを取り入れ発表し、保護者や下級生に的確に伝える工夫がみられました。



模造紙に分かりやすくまとめて発表しました(写真6年生)

村全体で支えます

住み良い村を目指して



発表に聞き入ります

村の保健・福祉・医療の向上を目的とした三施設合同研究会が二月二十日、保健福祉センターで開かれました。

診療所や社会福祉協議会、地域包括支援センターに加え、作業所えがお、介護老人保健施設、消防署の代表が、活動内容や取り組みの様子などを発表しました。最後に、岐阜大学の永田知里教授による、健康情報などに関する講演が行われました。

各団体は、現状や課題を理解、共有し、連携しながら安心して住み良い村づくりを進めます。

村の活性化に継続的支援

地域振興の一役を担う

東濃信用金庫が設立した「とうしん地域振興協力基金」の高橋勝人常務理事ほか二名が来庁し、村長に助成金を手渡しました。

この基金は平成二年に設立し、岐阜県下で地域活性化のための地域産業の振興、社会福祉の向上、生活環境の整備、社会文化活動など、公益的な事業に対し助成します。本村では、今年も「つちのこフェスタ」と「お松さまのまつり」の二つの事業に五万円ずつ助成を受けました。

基金は今年度、県内の各種団体などが行う四十一の事業に対して、計七百万円を助成します。



2月26日、高橋常務理事から手渡されました。

感動の演出に涙

お礼と激励の言葉で送り出す



5年生のダンスで6年生を会場へ迎えました

六年生を送る会が二月二十七日に小学校で行われました。

この日は、一年生から六年生までが一緒になった仲良しグループに分かれ、六年生一人一人に感謝の言葉とプレゼントを贈りました。会では、各学年で替え歌の合唱などで感謝や励ましの気持ちを伝え、六年生からは「学年が上がっても低学年に優しくしてください」などの言葉が返されました。

中心となり計画した五年生は、伝統を受け継ぐとともに、小学校の代表としての心構えを改めて感じているようでした。

保健福祉センター(78-2100)



生活の中に楽しみを持つことが大切だそうです

健康講座で再確認
病气予防の正しい生活
老人クラブ清楽会の健康講座が二月十八日、西洞センターで行われ十九人が集まりました。
診療所の北川所長が講師を務め、高齢者の病気で多い「脳卒中」「糖尿病」などについて、「注意点」や予防法などを話しました。また、日々の生活習慣として、バランスの良い食事、禁煙、お酒を飲み過ぎないこと、運動習慣などを呼びかけました。最後にボールを使ったゲームを行い、笑顔のひと時を送りました。
保健福祉センターは、依頼があれば健康講座を行いますので、お気軽にお問い合わせください。

もうすぐ一年生

小学一年生との交流会



あやとりを習って一緒に遊びました

みつば保育園の年長組六人が小学校を訪れ、四月からの新しい生活の一部を体験しました。

最初に園児は、一年生から学校の行事や生活の様子、勉強内容などを紹介されました。校内探検では一年生に手を引かれ、ランチルームや体育館、職員室などを見て回りました。その他、けん玉やお手玉などの昔の遊びをしたり、鉛筆の持ち方を習ったりするなど、楽しい交流の時間を過ごしました。

緊張気味の園児でしたが、交流会を通して小学校での生活を楽しみにしているようでした。

感謝の気持ちを伝えよう

笑顔と感動の送る会

三年生を送る会が二月二十六日、中学校で行われました。この日のため、二年生実行委員が中心となり準備をしてきました。

一・二年生は、三年生の学校生活や部活動、委員会でのすぐれた姿や目標にしたい姿を一人一人紹介し、感謝の気持ちを伝えました。三年生からは「伝統を引き継ぎ、より良くしてほしい」などの言葉が送られ、伝統の一つである合唱を披露しました。

伝統が受け渡され、四月から始まる新たな中学校に向け、在校生からは希望と不安の表情がうかがえました。



1・2年生が中心に作成したモザイクアート
約6万枚の色紙を貼り合わせました

東白川の力が大活躍

全国大会への出場を決める



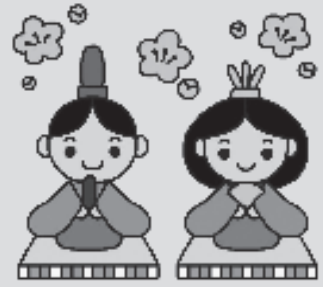
3月3日、村長から激励を受けました
左から、莉緒さん、華緒さん、成美さん

美濃加茂高校二年生の高木華緒さん、莉緒さん姉妹(黒瀬)と一年生の村雲成美さん(神付)が第二十回全国私立高等学校バレーボール選手権大会出場の記事に村長を訪ねました。

同校はこの大会へ三年連続の出場。チームでは、華緒さんがレシーバー、莉緒さんがセッター、成美さんがレフトを務め、一月に行われた県大会と東海大会を勝ち抜きました。

三月二十三日から東京都町田市を中心に行われる大会に向け「まずは初戦突破を目指す」と話し、三人は健闘を誓いました。

おしらせ



みのかも定住自立圏つながらる事業 参加募集説明会

みのかも定住自立圏では、「住み続けたい」「住んでみたい」と感じるまちをつくる住民や事業者の皆さんの意欲的な活動を支援します。応募を考えている方は、説明会に必ず参加してください。

【対象事業】 圏域の課題解決に取り組む事業

【対象団体】 ①国や他の公共団体から補助金などを受けていないこと②圏域市町村で活動しているか、これから活動を考えていること③5人以上の会員で、半数以上が圏域市町村に居住、通勤、通学していること④補助金の請求時に、美濃加茂市内に居住、通勤、通学

している人がいること⑤対象事業を実施し、完了することができること⑥政治活動、宗教活動、公益を害する活動でないこと⑦暴力的不法行為者、圏域市町村の一般競争入札の参加制限者、圏域市町村の税などの滞納者でないこと

【補助種類】 A社会貢献サービス型、Bソーシャルビジネスはじめの型※補助する期間は最大三年間で、毎年、選考・審査があります。

※補助金額の割合と限度額は、選考・審査の評価得点により異なります。

※詳しくはホームページでご確認ください。

【申込・お問い合わせ先】

四月七日までに電話で美濃加茂市定住自立圏推進室へ
TEL 0574・25・2111

税務職員募集（大卒程度）

【職種】 国税専門官

【受験資格】 ①昭和六十年四月二日から平成六年四月一日生まれの者②平成六年四月二日以降生まれの者で次に掲げる者(1)大学を卒業、又は平成二十八年三月

までに卒業見込みの者(2)人事院が(1)と同等の資格があると認める者

【申込期間】 ①インターネット 四月一日から四月十三日 ②郵送または持参 四月一日から二日

【試験日】

・一次試験 六月七日
・二次試験 七月十四日から二十二日までのうち、いずれか指定する日

【お問い合わせ先】 名古屋国税局人事第二課試験係

TEL 052・951・3511
(内線3450)

ささゆりクリーンパーク

春イベント催し内容

■ごみと遊ぼう

【参加費】 無料

【場所】 わくわく体験館

【開催日時】 四月二十九日 九時から十五時（最終受付 十四時半）

①廃びんで作る貯金箱

【内容】 ①びんに穴を開ける、装飾②装飾

【定員】 先着二百名（①七十名、②百三十名）

【対象】 ①小学一年生以上 ②三歳以上（幼児は保護者

詳しくはHP「ささゆりクリーンパーク」で検索

詳しくはHP「国税庁」で検索 名古屋国税庁コーナー

同伴)

②リサイクル工作 ロケツトとこま

【定員】 先着二百名

【対象】 三歳以上

※幼児は保護者同伴です。

※わくわく体験館は通常火曜、祝日は休館日ですが、四月二十九日から五月六日まででは臨時開館します。

■リサイクル自転車 無料抽選会

【抽選台数】 十台

【応募場所】

エコサイクルプラザ三階

【応募期間】 四月十八日から五月十四日（開館時間は九時半から十六時）

※四月二十一・二十八日、五月三・六・十二日は休館

【応募条件】 当選された自転車を持って帰ることができの方

【抽選日時】 五月十五日十時（立ち会い可、当選者には電話連絡します。）

【お問い合わせ先】

わくわく体験館
TEL 0574・65・1515

ささゆりクリーンパーク
TEL 0574・65・4111

御寄付

ありがとうございました

※敬称略

【東白川村】

■ふるさと思いやり基金 金五十万円：
和田明広（愛知県）

■医療・保健福祉部門 金五十万円：安江正樹（平）

【社会福祉協議会】

金五十万円：今井貞夫（大沢）

金五千円：匿名

マスク：田口文江（中谷）

古切手：安江壽子（陰地）

古切手：森林組合

古切手：匿名

■せせらぎ荘

金五十万円：今井貞夫（大沢）



ひのき	13cm以下小丸太 平均単価/9,300円
	14cm以上 平均単価/19,200円 高値/89,000円
すぎ	平均単価/9,400円 高値/31,500円
赤まつ	平均単価/7,700円 高値/16,200円
総取扱量	882 m ³
総販売高	1,223万5千円

そんぼADRセンターの
ご案内

お客様の損害保険に関するお困りごとを解決サポートいたします。

そんぼADRセンターは、紛争解決委員会には弁護士など、中立・公正な第三者を選任し、中立・公正な立場で対応します。また、相談や苦情、紛争解決手続きにかかる費用は原則として無料です。※通信費、意見聴取に出席されるための交通費・宿泊費等、必要な書類の取得費用などはお客様のご負担となります。

【お問い合わせ先】

ナビダイヤル(全国共通)
Tel 0570・022808
そんぼADRセンター中部
Tel 052・308・3081

多重債務無料相談

悩む前にご相談ください。弁護士や司法書士、県の消費生活相談員が丁寧に対応し、個人に合った解決法を提案させていただきます。

【内容】①面接による相談(相談時間は三十分、前日までに電話予約が必要)
②電話による相談(開催日の相談時間内に電話)

【会場・日程】(実施内容)
・ふれあい福寿会館内、県民生活相談センター①②
四月十一日、六月十三日、八月八日

・県中濃総合庁舎①
七月十七日
・県飛騨総合庁舎①
九月十八日

【時間】
十三時から十六時
【予約・電話相談先】
県民生活相談センター
Tel 058・277・1003

労働基準監督官採用試験

【受験資格】①昭和六十年四月二日から平成六年四月一日生まれの者
②平成六年四月二日以降生

まれの者で、大学を卒業した者及び平成二十八年三月までに卒業する見込みの者(人事院が同等の資格があると認めた者も可)

【インターネット受付期間】
四月一日から四月十三日受付有効

【採用予定数】
●労働基準監督A(法文系)約百六十名
●労働基準監督B(理工系)約四十名

詳しくは、人事院ホームページ(国家公務員試験採用情報ナビ)でご確認ください。

国家公務員募集

人事院は平成二十七年年度の採用試験を行います。受験案内等は人事院ホームページからダウンロードできます。また、申し込みはインターネットで行ってください。

■総合職試験

(院卒者・大卒程度試験)
【受付期間】
四月一日から四月八日
【第一次試験日】
五月二十四日

■一般職試験

(大卒程度試験)
【受付期間】
四月九日から四月二十日
【第一次試験日】
六月十四日
(高卒程度試験)

【受付期間】
六月二十二日から七月一日
【第一次試験日】
九月六日

【お問い合わせ先】
人事院中部事務局
Tel 052・961・6838

社会保障・税番号制度導入

平成二十五年五月に番号関連法が交付され社会保障・税番号制度(以下、番号制度)が導入されることになりました。
番号制度は、より公平な社会保障制度や税制の基盤であり、国民の利便性の向上や行政の効率化につながります。

国税庁では、ホームページで番号制度の概要等をお知らせしています。この特集ページでは、番号制度について簡潔に記載した資料やFAQを掲載していますので、ぜひご利用ください。
詳しくはHP「国税庁」で検索
社会保障・税番号制度ページ

4月

近隣の休日診療情報

日	曜日	加茂医師会 午前9時~午後5時
5	日	濃飛ファミリークリニック (川辺町/53-3111)
12	日	太田メディカルクリニック (美濃加茂市/26-2220)
19	日	木沢記念病院 (美濃加茂市/25-2181)
26	日	木沢記念病院 (美濃加茂市/25-2181)
29	水(祝)	うえだクリニック (美濃加茂市/26-2281)

下呂市立休日診療所	
■診療日時	毎週日曜日・祝日 午前9時~午後3時
■所在地	下呂市森801-10 下呂市民会館1階 Tel 0576-24-1200
※原則として	内科・小児科の急病患者



岐阜県からのお知らせ

点字版・音声版をご希望の方は、県広報課へご連絡ください
音声版には、CD(デイジー編集)もあります

この情報は平成27年2月24日現在のものです。
この紙面に関するお問い合わせは、県広報課まで ☎058(272)1111(代) FAX058(278)2506



情報ボックス

案内

「岐阜県からのお知らせ」は 岐阜放送(8ch)データ放送で

県からのお知らせやイベント情報などを地デジのデータ放送で発信しています。毎週木曜更新・24時間放送なので、タイムリーな情報をいつでもご覧になれます。※メンテナンスによる放送休止あり。

●視聴方法／

《1》デジタル放送の岐阜放送(8ch)にチャンネルを合わせ、リモコンの「dボタン」を押します。

《2》データ放送のトップ画面で「岐阜県からのお知らせ」を矢印キーで選択し、「決定」ボタンを押します。

《3》見たい項目を矢印キーで選択し、「決定」ボタンを押すと、詳細情報をご覧になれます。

●問／県広報課 ☎058(272)1116

募集

平成27年度県政モニター募集

県民の皆さんのご意見を県の政策・事業に活用するため、県政に関するアンケート(年5回程度)に協力いただける方を募集します。

●参加(回答)方法／インターネットまたは郵送

- 任期／5月下旬から平成28年5月末まで
- 資格／県内在住で20歳以上の方
- 募集人数／250人程度
- 応募方法／Webサイトから応募、または問い合わせ先へ電話
- 募集期間／3月23日(月)～4月30日(木)
- 問／県広報課 ☎058(272)1118

相談

弁護士による無料法律相談

法律専門家が相談(面接・電話)に応じます。
※無料・面接は要申込

- とき・ところ／4月1日(水)、15日(水)、5月13日(水)、27日(水)いずれも13:00～15:50・県民生活相談センター(岐阜市)
- 定員／各日8人(先着順)
- 開催日の2日前までに申込先に電話
- 申込先・問／県民生活相談センター ☎058(277)1001

試験

平成27年保育士試験

- 試験日／筆記:8月8日(土)・9日(日) 実技:10月18日(日)
- 試験場所／大垣女子短期大学(予定)
- 申請書／(一社)全国保育士養成協議会 保育士試験事務センター☎0120(4194)82にて配布・申請書受付
- 受付／4月1日(水)～5月7日(木) 問／県子育て支援課 ☎058(272)8336

案内

4～6月は狂犬病 予防注射月間

狂犬病は人にも感染し、発症すると命を落とす恐ろしい病気です。法律により、飼い主には、飼い犬への年1回の狂犬病予防注射が義務付けられています。予防注射は動物病院で受けられますが、4～6月には各市町村で集合予防注射が実施されます。会場や日程、料金など詳しくは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

●問／県生活衛生課 ☎058(272)1986

案内

岐阜県奨学金(貸付金)

- 内容／(下表のとおり)
- 申請書／各学校で配布
- 募集期間／4月上旬～5月中旬 ※卒業後に返還が必要です。
- 問／[公立高等学校等、高等専門学校、短大、大学]県教育財務課 ☎058(272)8734、[私立高等学校等、専修学校高等課程]県奨学振興・青少年課 ☎058(272)8240

岐阜県選奨生奨学金	高等学校等、高等専門学校、短大、大学 ※所得要件及び成績要件あり
岐阜県高等学校奨学金	高等学校等、高等専門学校 ※所得要件あり
岐阜県子育て支援奨学金	高等学校等、高等専門学校 ※第3子以降の方が対象

短歌



谷川は釣り人もなくひえびえと

来る春待ちて静かに流るる

早瀬久子

東北の被災の記事に胸痛み

不足の心戒めらるる

安江嘉子

クリスマス歌の流れをうすら聞き

友の造りしケーキ味わう

安江守平

年故か直り切らない腰痛を

庇いて動く疲れは倍に

安江一子

いくさ場に散りし弟をおもいては

桜花びら両手にうける

安江とくよ

(平成二十四年発行

木の実会短編集
【第五集から】)

人口の動き

世帯数	… 865世帯
人口	… 2,496人 (男1,200人 女1,296人)
入出	… 1人
出生	… 3人
死亡	… 0人
転入	… 3人
転出	… 3人

先月との比較5人減
昨年との比較72人減

2月末住民登録人口から

ひとこと

日に日に暖かくなり、日中は外でも寒さが気にならないくらいになってきました。

昨年十一月に受験した、健康運動指導士の認定試験に合格し、先日その登録証が届きました。これは、幅広い年齢層の方の、個人に合った運動指導ができるものです。「いつまでも健康で元気」と誰もが願いますが、実際に運動していただけだとその願いはありません。まずは、健康作りの大切さや運動の楽しさを伝える活動から始めていきたいです。

アレもコレもと、器用にできませんが、自分なりの姿勢で村の力になれるようにこれから頑張ります。(林純)

